

分子疫学的調査から見えてきた口腔常在微生物叢と健康との関わり



演者 **竹下 徹 先生**

九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座 口腔予防医学分野 教授

日時：2023年 **10**月 **2**日 (月)

18:00~19:00

会場：Web開催に変更になりました

口腔には膨大な数の常在微生物が複雑に作用し合いながら安定な生態系を構築して生息している。歯科の二大疾患であるう蝕と歯周病の病原菌もこの生態系の一員であり、近年微生物叢全体としての病原性という視点から病因論の再考が進められている。また口腔からは常時大量の微生物が唾液や飲食物とともに下流の臓器へ運ばれており、嚥下される口腔常在微生物の全身の健康状態への影響にも注目が集まっている。こうしたことから口腔常在微生物叢の構造と動態の正確な理解、そして制御法の開発が急がれている。

我々は培養を介さずDNAを分析する網羅的微生物群集解析法を駆使し、口腔常在微生物叢の分子疫学的調査を積み重ねることでその正常像と疾患関連パターンの特定を進めてきた。このなかで微生物叢の優占種の構成バランスの個人差と我々の健康状態とのあいだに様々な関連を見出し、これらを新たな口腔保健アプローチの開発に繋げるべく研究を進めている。本講演では我々のこれまでの調査で得られた知見をもとに口腔常在微生物叢というシステムの捉え方について概説する。

略歴

2005年 九州大学歯学部卒業
2007年 日本学術振興会特別研究員 (DC2) 採用
2009年 九州大学大学院歯学府博士課程修了・博士 (歯学) 取得
2009年 九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野・助教
2013年 九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野・准教授
2016年 九州大学大学院歯学研究院OBT研究センター・准教授 (兼任)
2023年 九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野・教授
現在に至る

代表論文

1. *PLoS Pathog.* 16(3):e1008348, 2020
2. *mSystems.* 4(5):e00360-19, 2019
3. *Sci Rep.* 6:22164, 2016
4. *ISME J.* 3(1):65-78, 2009